

対象とする単元の詳細(学校での授業の流れ)

理科5年(2. メダカの誕生)学習時期:5月~6月、8(9)時数

育てたい力	学びとらせたい内容	授業の流れ(メダカの誕生)
① ・メダカの誕生か、人の誕生か、学習する内容を自分で選択し、自分が立てた計画にそって調べたりまとめたりする。 ・連続する生命のすばらしさを感じ、生命を大切にす。	・メダカの受精卵は、卵内の養分を使って育ち、日がたつにつれてメダカらしい姿に成長してかえること。	1)メダカを飼い雌雄を観察する。
		2)メダカの卵を継続して観察する。
		3)メダカの誕生をまとめる。
		4)池や川にすむ小さな生き物を観察する。

理科5年(5. 天気の変化)学習時期:9月~10月、7(7)時数

育てたい力	学びとらせたい内容	授業の流れ
② ・空の様子の変化や天気の変化について計画的に調べる力。 ・天気の変化や台風について調べるために情報を活用する。	・雲の量や動きによって天気が変わること。 ・日本付近の天気は西から東に変化していく規則性があること。	1)天気が変わる時の空の様子を調べる。
		2)気象情報を集めて天気の変化の規則性を見つける

理科5年(6. 流れる水のはたらき)学習時期:10月~11月、11(12)時数

育てたい力	学びとらせたい内容	授業の流れ
③ ・流れる水の働きについて、自分なりの予想を持ち、土山に水を流したりしながら計画的に調べる。 ・流水実験で確かめた流れる水の働きを、実際の川の様子や大雨の時に起こる川の変化、自然災害と関係づけて考える。	・流れる水は、土地を削り、土や石を下流に運び、積もらせる働きがあること。 ・山地を流れる川の上流と平地を流れる川の下流では、川原の石の大きさや形に違いがあること。 ・水の量が増えると、速さが増し、流れる水の働きが大きくなること。 ・集中豪雨や長雨で増水した川が土地を大きく変化させ、災害を引き起こす場合があること。	1)導入の学習
		2)予想
		3)実験
		4)実験で学習したことのまとめ
		5)実際の川と関係づけて考える
		6)川の上流と下流
		7)川の水量が増えるとき

※時数について:括弧内は標準時数、括弧外は精選時数

対象とする単元の詳細(学校での授業の流れ)

社会科5年(2食糧生産を支える人々 2-1農業のさかんな地域をたずねて「自然を生かした農業」)

学習時期:7月、3時数

⑦

育てたい力	学びとらせたい内容	授業の流れ
土地や気候の条件との結びつきを考えながら、日本の主な農産物とその産地について調べ、まとめることができるようにする	自由経済では、産地間の競争は大切な視点である。安く、大量に、安全でおいしい野菜を提供する国内外の工夫と生産地の努力について調べる導入とした	1) 日本の主な農産物について、調べテーマを決める 2) 自然条件と関係づけながら、どこで、どんな農産物が多く作られ、どのように運ばれているかを調べる。 3) 写真や図などを使ってまとめ、わかったことを発表しあう。

社会科5年(2食糧生産を支える人々 2-2水産業のさかんな地域をたずねて「森は海の恋人」)

学習時期:9月、3時数(育てる漁業にはげむ人々)

⑧

育てたい力	学びとらせたい内容	授業の流れ
かきの養殖漁業に携わる畠山さんが取り組む植林活動について調べ、海の資源を育てるために、森や川の自然を守るよう努力や願いについて捉えることができるようにする。	かきの養殖漁業に携わる畠山さんが取り組む植林活動について調べ、海の資源を育てるために、森や川の自然を守るよう努力や願いについて捉えることができるようにする。	1) 海で働く畠山さんが山に木を植えるわけを予想する。 2) 植林活動を始めた理由や活動の様子を調べる。 3) 畠山さんたちの活動の願いについて、感じたことや考えたことをノートにまとめる。

社会科5年(5環境を守る人々 2国土を守る「森林からのおくりもの」)

学習時期:2月、3時数(森林と生きる)

⑨

育てたい力	学びとらせたい内容	授業の流れ
森林の働きや資源としての役割について調べ、森林は自分達の暮らしと深く結びついていることを捉えるとともに、森林を守り育てていくことの大切さに気づくことができる。	森林から遠く離れた都市部に住んでいる場合でも、森林は自分達の暮らしと深く関わっていることに気付かせ、森林を大切にしようとする心を育てていきたい	1) 三浦さんの話をもとに、2枚の絵を比べながら森林の働きについて調べる 2) 緑のダムとして森林が果たす役割を調べる。 3) 森林と自分達の暮らしとの関わりを考え、守り育てることについて自分の考えをまとめる。

対象とする単元の詳細(学校での授業の流れ)

理科6年(3. 植物の体のつくりとはたらき)学習時期:6月~7月、9(10)時数

育てたい力	学びとらせたい内容	授業の流れ
④ ・植物の様子を観察し、植物の体内の水のゆくえや、植物が葉ででんぷんを作るはたらきを推論しながら調べ、見いだした問題を計画的に追究する活動を通して、生命を尊重する態度を育てるとともに、植物の体のつくりとはたらきについての見方や考え方を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ・植物を観察し、植物の根、茎、葉には水の通り道があり、根から吸い上げられた水は主に葉から蒸散していることをとらえる。 ・日なたと日かげの植物の観察から日光と植物に必要な養分との関係に気づき、日光を当てた葉と当てない葉ででんぷんのでき方を調べることにより、植物は日光が当たった葉で自ら養分を作り出すことをとらえる。 	1) 根から取り入れた水を葉まで運ぶ植物の体のつくりについて予想し、根から着色した水を吸わせ、植物の体の中の水を運ぶつくりを調べる。
		2) 植物にビニル袋で覆いをし、葉から水が出ているかどうかを調べる。
		3) 葉の水の出口を顕微鏡を使って調べる。
		4) 日なたの植物と日かげの植物を観察する。
		5) 日光、成長、養分の関係について考え、予想を確かめる実験を計画する。
		6) 光が当たると葉ででんぷんができるかどうかを調べる。

理科6年(5. 土地のつくりと変化)学習時期:9月~10月、11(12)時数

育てたい力	学びとらせたい内容	授業の流れ
⑤ <ul style="list-style-type: none"> ・土地のつくりとその要因との関係に問題を見出し、多面的に追及し、相互関係や規則性をとらえる力。 ・土地のつくりを調べたり情報を収集したりして観察や実験などを行い、その過程や結果を的確に表す力。 ・火山の噴火や地震に関する情報にはどんなものがあり、どのようにして手に入れるかを考える。 ・火山の活動や地震によって変化した土地に関する情報を活用しながら調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土地の構成物には、小石、砂、粘土、火山灰、岩石があり、それらが層をつくっている場合もあること。 ・地層は、流水や火山の働きによって、長い年月をかけてできること。 ・火山の活動や地震によって、土地は変化することがあること。 	1) 土地の縞模様について話し合う。 ※新教科書では削除された活動かもしれない。
		2) 地層のつくりについて調べる。
		3) 地層が水の働きでできるかどうかを調べる。
		4) 地層のでき方についてまとめる。
		5) 火山の活動による土地の変化について調べる。
		6) 調べたことを発表する。
		7) 地震による土地の変化について調べる。
		8) 調べたことを発表する。

理科6年(9. 生き物と環境)学習時期:3月、7(9)時数

育てたい力	学びとらせたい内容	授業の流れ
<p>⑥</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人や他の動物、植物は、空気、食べ物、水を通して、どのように関わっているかを多面的に捉える力。 ・人間生活が自然環境に影響を与えていることや、自然環境を保全するためにどんなことをすべきかなどについて、多面的に考える。 ・生き物と環境について、生き物と空気という視点で考え、酸素は、植物が作り出していることをとらえる。また、生き物と食べ物という視点で考え、動物の食べ物のもとをたどると植物に行きつくことや、食物連鎖の関係があることをとらえる。さらに、生き物と水という視点で考え、生き物にとって必要不可欠な水は、地球上をめぐっていることをとらえる。 ・これまでの学習を振り返り、人と環境とのかかわりについて、空気、水、生き物という視点で考えることから、人や他の動物、植物を取り巻く自然環境を幅広い視野でとらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物のもとをたどると植物に行きつき、動物の中には枯れた植物を食べるものもいること。 ・自然の中で、生き物は、空気、食べ物、水を通して、互いに関わって生きていること。 ・人間は、食べ物、空気、水を通して周囲の環境と関わって生きており、自然環境に影響を与えていること。 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 生き物と空気、食べ物、水について話し合う。 2) 植物が酸素を作り出すかどうか調べる。 3) 人の食べ物のもとを調べる。 4) 生き物にとって必要な水がどこからくるのか考え、これまでの学習をまとめる。 5) 人間生活と自然環境との関わりを話し合う。 6) 私たちの身近な場所で、どのような自然環境に対する取り組みがあるかを話し合う。

社会科5年(5環境を守る人々 2国土を守る「豊かな緑や水辺を守ろう」)

学習時期:3月、3時数(自然とともに生きる)

⑩

育てたい力	学びとらせたい内容	授業の流れ
日本の国土には、かけがいのない豊かな自然環境が残され、それらを守るために様々な取り組みが行われていることに気づくことができるようにする。	自分達の住む地域でも、同様の取り組みが行われていないか調べてみる。身近な自然環境にも目を向けられるようにしたい。	1)全国各地で残されている、豊かな自然環境について調べる。
		2)国土の自然環境を守るための様々な取り組みについて調べる。
		3)自分達の地域で取り組まれていることはないかを調べる。

社会科5年(5環境を守る人々 2国土を守る「わたしも自然の一部」)

学習時期:3月、3時数(自然とともに生きる)

⑪

育てたい力	学びとらせたい内容	授業の流れ
自分達の暮らしと自然環境との結びつきについて調べ、人間も自然の中の一部であることに気づくとともに、自然のしくみを守っていくことの大切さを捉えることができるようにする。	人間は、自然と共存していかなければ生きていけない。人間が自然を破壊すれば、自然の生態系がバランスを失い、最終的には人間自身に不利益をもたらすことをおさえ、自分の考えをまとめさせたい。	1)絵図をもとに、自分達と自然環境との結びつきについて考え、話し合う。
		2)自然の仕組みをゆがめるとどうなるか、資料をもとに調べる。
		3)自然のしくみを守ることの意味について話し合い、自分の考えをまとめる。

社会科6年(1大昔の暮らし「縄文の暮らしウォッチング」)

学習時期:4月、2時数(オリエンテーション)

⑫

育てたい力	学びとらせたい内容	授業の流れ
2枚の想像図を見比べ、人々の暮らしの様子について話し合ったり、その変化・発展の様子や疑問点を見つけ出しながら、歴史学習に対する興味・関心を高めるようにする。	発掘・研究の成果をもとにして描かれた想像図を細かく読み取ることを通して、探求・推理する楽しさを味わいながら、歴史学習に対する興味・関心をもたせたい。	1)「狩りや漁をしていたころの様子」の想像図を見て、気づいたことや疑問を出し合う
		2)「米づくりが広まったころの様子」の想像図を見て、気づいたことや疑問を出し合う
		3)人々の暮らしが変化・発展していく様子や新たな疑問について話し合う
		4)自分の意見・感想を元に、歴史学習への興味や関心、期待などをノートにまとめる。